

感染症を予防するには、 予防接種が有効です

子どもは病気に感染しやすく、感染すると重症化します。病気に感染しないように守ってあげることが大切です。

お母さんから赤ちゃんにプレゼントされた免疫力（病気に対する抵抗力）は、麻しん（はしか）では生後8カ月ころまでに自然に失われていきます。

ただし、母親からの免疫（移行抗体）が有効に働かない場合もあります。

この時期を過ぎると赤ちゃん自身で免疫をつくって、病気を予防する必要があります。そのため有効な方法が予防接種です。

最近、麻しん（はしか）の大流行、高知県内で百日咳の集団発生がありました。ウイルス・病原菌に免疫を持たない人は大人でも子どもでも感染します。

まだ残暑きびしく、蚊の多い季節です。蚊（コガタアカイエカ）に刺されると日本脳炎に感染する可能性があります。蚊に刺されないように注意しましょう。

また、日ごろから栄養・休養を十分にとり、体力を落とさないことも大切です。

日本脳炎の予防接種は厚生労働省の勧告により、積極的な接種勧奨は差し控えています。希望すれば接種可能です。

詳しくは、健康づくり推進課（☎59-3151）までお問い合わせください。



障害者地域活動支援センター「香美」

J R土佐山田駅前の商店街にある、障害者地域活動支援センター「香美」をご存じですか？ 同センターは、身体・知的・精神の3障害に対応し、障害者や保護者の相談に応じるほか、障害者の日中活動の支援をしています。

センターでは、相談支援専門員らのスタッフが、朝から訪れた利用者とともにオクラの袋詰めなどの生産



活動に励んでいます（※7月下旬）。利用者の中には、家でずっといるよりも、外へ出ることで気分転換にもなるようで、楽しみに来てくれる方もいます。ちよつとした相談などでもかまいませんので、センターをご利用ください。 ※主な事業は次のとおり。

◆相談支援事業

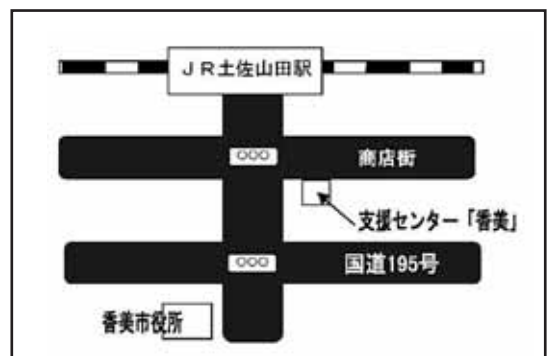
日常生活や家庭、将来のことなど、どんな相談でもかまいません。

面接・訪問をご希望の方は、できるだけ予約をお願いします。

◆地域活動支援センター事業

- ・ 創作活動：絵画、ぬり絵など作品づくり
- ・ 生産活動等：就労に向けて生産活動に参加（オクラの袋詰め、アルミ缶回収など）

※時期によりメニューが異なります



・ その他：ビデオ上映、トランプ、体操など

【開設日時】月～金曜日（※祝日は除く）の9時～16時

※利用料は無料。
【問い合わせ先】

支援センター「香美」
☎・FAX 53-7077

※支援センターでは、お手伝いしていただけるボランティアを募集しています。話し相手をしたり、趣味を生かしたりなど、空いている時間を使って、できることでのお手伝いをお願いします。